



エコアクション21
認証登録番号：0006849

スケール株式会社 環境活動レポート 2017年度報告

(対象期間：2017年4月～2018年3月)



改訂日 2017年12月5日

スケール株式会社
代表取締役 柴山 英明

スケール株式会社 エコアクション21 環境活動レポート 2017年度報告

《 目次 》

| | |
|--------------------|------|
| 1. 環境方針 | ……1 |
| 2. 事業活動の概要 | ……2 |
| 3. 認証・登録の対象範囲 | ……3 |
| 4. 主な環境負荷の実績 | ……3 |
| 5. 環境目標及びその実績 | ……4 |
| 6. 環境活動の取り組み計画と評価 | ……5 |
| 7. 環境関連法規等の遵守状況 | ……6 |
| 8. 自社による環境活動の紹介 | ……7 |
| 9. 最近の主な自社工事実績 | ……15 |
| 10. 代表者による評価と見直し記録 | ……16 |

1. 環境方針

当社は主に兵庫県北部を対象とし、公共事業・宅地造成等の建設・土木工事などを行っています。地域貢献活動を積極的に行うなど地場に根差した企業を目指し日々精進していきます。

環境活動について、以前から廃棄物等の分別、公共の美化活動や工事における省エネ等の活動を行ってきましたが、2011年3月にエコアクション21環境経営システムを構築・運用し当社がエコアクション21登録事業所に認証されました。

また、2014年3月に建設コンサルタント業としての認可も下り、従来までの総合建設業の範囲だけでなくさらに活動の幅を広げていきます。

これからもより一層、環境への取り組みを「あなたの健康から家造りAfterまで」をスローガンに自主的・積極的に環境への取組を推進します。

《行動指針》

1. 次の事項について環境目標・環境活動計画を設定し、定期的に見直しを行い継続改善に努めます

- 1) 電力及び燃料による二酸化炭素排出量の削減
- 2) 資源循環型社会に向けた資源の有効利用とリサイクルの推進
- 3) 一般廃棄物及び産業廃棄物の排出量の削減
- 4) 水資源の節水
- 5) 現場周辺等の地域貢献活動の推進
- 6) グリーン購入の推進

2. 環境関連法規や当社が約束・宣言したことを厳守します

制定日：2010年 3月 30日

改定日：2015年 3月 30日

スケール株式会社

代表取締役社長 **紫山 英明**

2. 事業活動の概要

《組織の概要》

(1) 事業名称及び代表者名

スケール株式会社
代表取締役 柴山 英明

(2) 所在地

本社 〒669-5221 兵庫県朝来市和田山町秋葉台4番地41
養父支店 〒667-0435 兵庫県養父市大屋町和田20番地1
資材倉庫 〒667-5101 兵庫県朝来市山東町滝田203番地1

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

責任者：総務 柴山 英和
担当者：日下部 幸男
連絡先 TEL：079-670-2155 FAX：079-670-2188
メール： scale@wac2.net
ホームページ： <http://www.sky.hi-ho.ne.jp/scale-co/>

(4) 事業内容

総合建設業（土木、建築、舗装、管、造園等の工事）
建設コンサルタント業（本年度事業拡大）

(5) 事業の規模

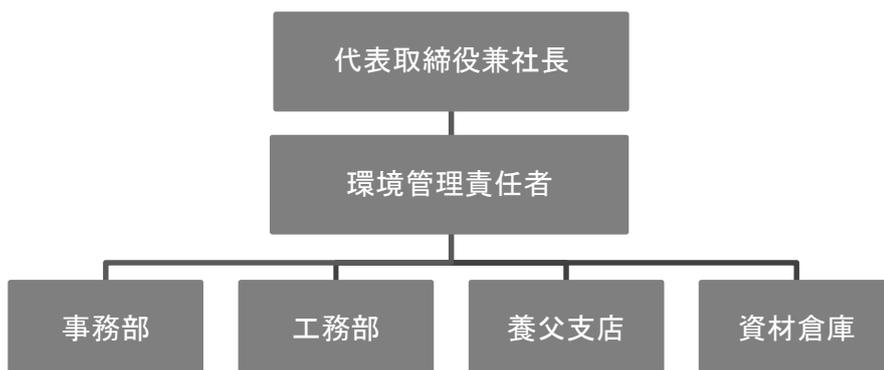
総売上高 210百万円（2017年度見込み）

| | 本社 | 養父支店 | 資材倉庫 |
|------|--------------------|--------------------|-------------------|
| ・従業員 | ・4名 | ・1名 | ・無人 |
| ・床面積 | ・120m ² | ・228m ² | ・30m ² |

(6) 事業年度

当年4月～翌年3月

《実施体制図》



3. 認証・登録の対象範囲

◀認証・登録範囲▶

登録組織名：スケール株式会社

関連事業所：養父支店、資材倉庫

活動：総合建設業（土木、建築、舗装、管、造園等の工事）

：建設コンサルタント業（本年度事業拡大）

4. 主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 基準年度 (2009年) | 2011年 | 2012年 | 2013年 |
|--------------|--------------------|-----------------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 32,906 | 34,657 | 33,023 | 34,475 |
| 電力※1 | kWh | 3,836 | 1,659 | 1,678 | 3,987 |
| 軽油 | L | 5,254 | 14,366 | 13,300 | 6,466 |
| ガソリン | L | 6,336 | 15,295 | 15,580 | 5,723 |
| 灯油 | L | 1,076 | 3,337 | 2,465 | 973 |
| 廃棄物総排出量 | t | 596 | 676 | 484 | 693 |
| 一般廃棄物 | t | 10 | 4 | 7 | 15 |
| 産業廃棄物総量 | t | 586 | 672 | 477 | 678 |
| 混合廃棄物 | t | | | 6 | 12 |
| リサイクル率 ※2 | % | | | 97 | 98 |
| 総排水量 | m ³ | 153 | 133 | 134 | 112 |

| 項目 | 単位 | 2014年 | 2015年 | 前年度 (2016年) | 今年度 (2017年) |
|--------------|--------------------|--------|--------|----------------|----------------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 23,701 | 23,494 | 23,526 | 27,106 |
| 電力※1 | kWh | 2,628 | 3,598 | 2,146 | 2,779 |
| 軽油 | L | 3,423 | 2,906 | 9,133 | 9,857 |
| ガソリン | L | 4,806 | 5,008 | 10,338 | 12,504 |
| 灯油 | L | 878 | 935 | 1,909 | 1,966 |
| 廃棄物総排出量 | t | 1238 | 228 | 383 | 358 |
| 一般廃棄物 | t | 7 | 7 | 6 | 8 |
| 産業廃棄物総量 | t | 1231 | 221 | 377 | 377 |
| 混合廃棄物 | t | 10 | 5 | 5 | 5 |
| リサイクル率 ※2 | % | 99 | 98 | 98 | 97 |
| 総排水量 | m ³ | 113 | 83 | 102 | 112 |

※1 二酸化炭素排出係数は0.509kg-CO₂/kWhを使用

※2 リサイクル率は目標を2012年度の97%と設定する

5. 環境目標及びその実績

| | | 2009年度 (基準年度) | 2017年度 (今年度) | | | | 2018年度 (来年度) | 2019~2020年度 (中長期) | |
|--------------|----------------|------------------|-----------------|--------|------|----|-----------------|----------------------|--------|
| | | 実績 | (目標) | 実績 | 達成率 | 評価 | (目標) | (目標) | (目標) |
| 二酸化炭素排出量合計 | kg-CO2 | 32,906 | 30,019 | 27,106 | 111% | ○ | 29,692 | 29,366 | 29,040 |
| 電力の削減 | kWh | 3,836 | 3,529 | 5,459 | 65% | × | 3,491 | 3,452 | 3,414 |
| | kg-CO2 | 1,450 | 1,334 | 2,779 | | | 1,320 | 1,305 | 1,291 |
| | 基準年度比 | | 92% | | | | 91% | 90% | 89% |
| 軽油の削減 | L | 5,254 | 4,834 | 3,756 | 129% | ○ | 4,781 | 4,729 | 4,676 |
| | kg-CO2 | 13,788 | 12,685 | 9,857 | | | 12,547 | 12,409 | 12,271 |
| | 基準年度比 | | 92% | | | | 91% | 90% | 89% |
| ガソリンの削減 | L | 6,336 | 5,829 | 5,386 | 108% | ○ | 5,766 | 5,702 | 5,639 |
| | kg-CO2 | 14,710 | 13,533 | 12,504 | | | 13,386 | 13,239 | 13,092 |
| | 基準年度比 | | 92% | | | | 91% | 90% | 89% |
| 灯油の削減 | L | 1,076 | 990 | 789 | 125% | ○ | 979 | 968 | 958 |
| | kg-CO2 | 2,681 | 2,467 | 1,966 | | | 2,440 | 2,413 | 2,386 |
| | 基準年度比 | | 92% | | | | 91% | 90% | 89% |
| 一般廃棄物の削減 | t | 10.30 | 9.48 | 7.89 | 120% | ○ | 9.37 | 9.27 | 9.17 |
| | 基準年度比 | | 92% | | | | 91% | 90% | 89% |
| 産業廃棄物総量※1 | t | 592 | — | 358 | — | — | — | — | |
| 混合廃棄物の削減 | t | 6 | 6 | 5 | 110% | ○ | 5 | 5 | 5 |
| | 基準年度比 | 100% | 92% | | | | 91% | 90% | 89% |
| リサイクル率の向上※2 | % | 99% | 96%以上 | 97% | — | ○ | — | — | — |
| 水使用量削減 | m ³ | 153 | 141 | 112 | 126% | ○ | 139 | 138 | 136 |
| | 基準年度比 | | 92% | | | | 91% | 90% | 89% |
| 地域貢献活動の推進 | 回 | 2 | 8 | 8 | 100% | ○ | 9 | 10 | 11 |
| | | | | 除雪活動 | | | | | |
| グリーン購入(事務用品) | 品 | 0 | 6 | 6 | 100% | ○ | 6 | 7 | 8 |
| | | | | 暖房器具等 | | | | | |
| グリーン購入(再生建材) | t | 56 | | 60 | 107% | ○ | | | |
| | | | | 再生砕石等 | | | | | |

[判例]○:達成、×:未達成

※1) 産業廃棄物総量について目標は設定しない ※2) リサイクル率の向上の目標は2012年度実績である97%を設定する

注1) 二酸化炭素排出量項目において灯油は微量であるため含まず算出

注2) 電力の二酸化炭素排出係数は0.509kg-CO₂/kWh(関西電力発表 2016年度クレジット反映前数値)を使用

6. 環境活動の取り組み計画と評価

(評価者 環境管理責任者・評価日 2018年 12月 1日)

| 取り組み計画 | 達成状況 | 評価：今後の方向性 |
|-----------------------|------|------------------|
| 二酸化炭素排出量の削減 | | |
| 下記三項目を参照 | | |
| ・ 電力 | △ | |
| 冷房温度28℃設定とクールビズ運動 | ◎ | よくできた：継続 |
| 暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動 | ◎ | よくできた：継続 |
| 昼休みの電気消灯 | ◎ | よくできた：継続 |
| 非省電力機器の使用中止 | ○ | できた：品目を増やしていきたい |
| ・ 灯油 | ○ | |
| 暖房節減の継続 | ◎ | よくできた：今後も実施 |
| 室内温度の適正化 | ◎ | よくできた：継続 |
| ・ ガソリン・軽油 | ◎ | |
| アイドリングストップ | ◎ | できた：ストップ機能車両の購入 |
| 急加速の抑制 | ◎ | よくできた：継続 |
| 空気圧・オイル等の点検 | ○ | できた：日常点検啓発 |
| 一般廃棄物の削減 | | |
| 分別の徹底 | ○ | できた：継続 |
| 紙ベースでの書類作成削減 | ◎ | よくできた：継続 |
| | | |
| 産業廃棄物（コン殻等）の削減 | | |
| 作業ロスによる廃棄物の削減 | ○ | できた：鋭意努力を続ける |
| リサイクル業者の開拓 | ○ | できた：継続 |
| 分別の徹底による有価物化 | ○ | できた：継続 |
| | | |
| 節水 | | |
| 車両洗車の節水 | ◎ | よくできた：定着化を進める |
| 蛇口等垂れ流し禁止 | ◎ | よくできた：節水できている |
| | | |
| 社会貢献 | | |
| 地域環境への貢献 | ◎ | よくできた：今後も意欲的に実施 |
| | | |
| グリーン購入 | | |
| グリーン製品購入 | ○ | できた：品目を増加していきたい |
| 再生建材の活用 | ◎ | できた：今後とも活用していきたい |
| | | |

7. 環境関連法規等の遵守状況

(1) 遵守すべき事項

(評価者 環境管理責任者・評価日 2018年 12月 1日)

| 適用される法規制 | 遵守すべき主な事項 | 遵守状況 |
|-----------|--|------|
| 建築リサイクル法 | 建設、解体、再資源化、建設廃棄物再資源推進 | 遵守 |
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物、産業廃棄物（コンクリート、金属、廃プラスチック、廃ガラス、廃油等）の適正処理 | 遵守 |
| 騒音規制法 | 特定作業実施届、規制値の遵守 | 遵守 |
| 振動規制法 | 特定作業実施届、規制値の遵守 | 遵守 |
| フロン排出抑制法 | 排出設備の把握・簡易点検 | 遵守 |
| 消防法 | 避難訓練定期実施、消火器等設置 | 遵守 |
| 自動車リサイクル法 | 全車加入、車検毎リサイクル券確認 | 遵守 |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されています

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反・訴訟はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません

8. 自社による環境活動の紹介

《事業所編》

(1) 節電活動

リモコンやスイッチ部、操作部分への啓発文を記載



電気スイッチ
(節電の表示)



冷暖房リモコン
(推奨温度の表示)



複合機 (FAX・コピー) 枚数単価表示により節電啓発



事務所内空調効率の向上化 (サーキュレーター設置・机かさ上げ)



※自社評価

前年度から行っている空調効率化が部屋全体が温まる時間の短縮も体感することができ、成果を出していることが実感できた。今後ともこの取り組みを継続していきたい。

(2) 分別活動

自社から排出される一般ごみの分別を実施



紙ごみ、プラごみ、生ごみ、資源（金属）ごみ



資源ごみ（古紙等）



資源ごみ（ペットボトル）

※自社評価

前年度に引き続き資源ごみで収集したものは地域活動の一環として地元小学校子供会の廃品回収活動へ搬出しその活動に協力している。

また、弊社は朝来・養父地域の一般ごみ回収委託業者になることを目標にしている。エコアクション21の経験を活かし、地域に根ざす企業として今後ともごみ回収に関して包括的に地域のごみ事業とも関わっていければと考えている。

(3) 啓発活動

事業所等におけるエコアクション活動の紹介や環境啓発物等の掲示



本社応接間

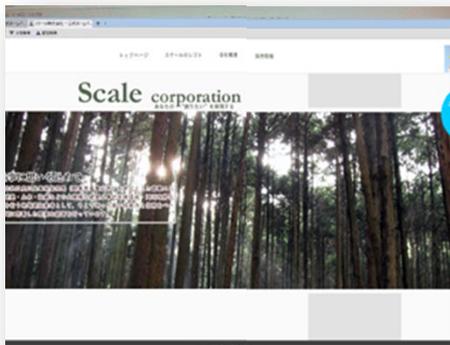
自社環境方針及びエコアクション21認証・登録証掲示・環境活動報告書の備付け



現場事務所内
ごみ分別推進啓発・自社環境方針及びエコアクション21認証登録証掲示



目に付きやすい場所にエコドライブ啓発書掲示



自社ホームページにてエコアクション21の紹介や最新の環境活動レポートを公開



本社玄関 エコアクション21認証標掲示
(本度より実施)

※自社評価
社員全員が環境活動に参加していることを各自が意識することによることが大切だと考えている。朝夕必ず立ち寄るミーティング場所に啓発物を掲示している。また、会社玄関に認証標を掲示することにより来訪者にアピールすることができる。

(4) 自社安全協議会の実施



安全衛生協議会（事務所・現場とも毎月実施）
緊急時の対応等講習会
現場整理整頓の徹底



エコアクション21 審査結果協議会実施
審査結果や審査人からの指摘事項の伝達及び協議

※自社評価

毎月始めに必ず事務所と現場で安全衛生協議会を実施している。

今後ともその場でエコアクション21の審査結果や指摘事項を出来るだけ早く社員に伝え、協議することで結果に結び付けるよう心掛けている。

(5) 産廃マニフェスト管理



マニフェスト管理の整理徹底

※自社評価

前年度からマニフェストの管理を項目ごとに分けし、法定保存期間の5年間の年次管理を徹底して行うことによって、産廃担当者だけが情報を理解するだけでなく、社員全体に共有しやすい状況となっているので今後とも継続していきたい。

(6) グリーン購入の実施



※自社評価
 本年度は環境に配慮したクリーンディーゼルエンジンを搭載した乗用車を営業車として導入した。軽油燃料車はガソリン燃料車より低回転時のトルクもあり、排出二酸化炭素も少ない。今後とも会社として環境考慮製品の購入を進めていきたい。

《現場編》

(1) 地域貢献活動

地域の活動を応援し、近隣住民との協力体制を維持する



・国史 竹田城改修工事施工(2014年度)



・除雪作業(朝来市委託)



※自社評価

弊社は地元で役立つことは率先して行っていくことをモットーにしている。騒音・交通等でいつも迷惑を掛けているという思いを会社の人間全体が持つことで、無事故・安全で環境や地元住民に配慮した仕事につながると信じている。

冬季には近隣地域及びその周辺地域を朝来市から委託された除雪作業を行っている。

今後とも地域に貢献する会社として一步一步進めていきたい。

(2) 自己活動状況



月間安全パトロールの実施

作業現場ごとに自社安全パトロール員がにより作業現場に危険箇所がないか、エネルギーの無駄使いはないか等の点検を実施



現場への安全教育徹底

- ・危険予知活動
- ・新規入場者教育
- ・建設退職金共済加入状況把握
- ・各現場での重要項目確認



工事前作業確認及び協議会実施

工事前に社員及び協力企業と入念に作業内容を協議することにより安全に作業が出来るだけでなく工事の無駄を省くことが可能である



環境配慮（低騒音・低振動）型の建設機械の使用

自社重機及びリース重機は周辺住民や環境配慮のため全建設機械において環境配慮型を使用



地域住民との協議徹底
理解違いによる苦情や事故を防止し、効率的且つ安全に工事が出来るよう協議を積極的に行う



先端技術（ドローン）の導入
工事着手前や工事完了時の比較、進捗状況の報告時に大変有効な空撮を可能にした



新技術講習会の積極参加
主に国直轄の現場で導入されている先進技術に関する講習を会社として積極的に参加

※自社評価
土木・建設業界でもICT（先進）技術の導入が進んでいる。弊社としても建設コンサルティング会社である以上、一般の方が理解しやすい視覚的情報を提供する方法として、ドローン空撮技術を工事に取り入れている。今後とも新技術に関して会社として積極的に導入していきたい。

9. 最近の主な自社工事実績

・(一)八鹿停車場線 橋梁補修 屋岡橋橋梁補修工事



10. 代表者による評価と見直し記録

[報告年月日 2018年 12月 1日]

[見直し年月日 2018年 12月 5日]

| 環境責任者の評価 総務・柴山 英和 | 代表者の評価・変更の必要性有無 代表取締役兼社長・柴山 英明 |
|--|--|
| [環境方針] 会社の経営方針や運営状態とエコアクション21弊社環境方針を照らし合わせたところ、弊社の方針ととても合致していると考えられる | [環境方針] 見直しで向上が見込める場合は環境管理責任者及び従業員と協議する必要があるが、今の現状では特に大きな見直しの必要はないと考えている 変更の必要性 — 無 |
| [目標・環境活動計画・達成状況] 本年度は仕事量が例年に比べ多く、産廃総量などの部分において多くの量となっているが概ね良好な結果となった | [目標・環境活動計画・達成状況] 二酸化炭素排出量の大きな要因である、工事現場に使用する重機について二酸化炭素低排出量化エンジンを装備したものの更新の予定がある 変更の必要性 — 無 |
| [法律等の改定、順守状況] 現在、エコアクションに関する法令・法規類の改定はなく自社の順守状況も適正である | [法律等の改定、順守状況] 変更の必要なし 変更の必要性 — 無 |
| [外部からの苦情の有無] 昨年度に引き続き地域貢献活動・地域工事を積極的に行うよう努力し、地域に根付いた企業を目標としていきたい | [外部からの苦情の有無] 改善が必要であれば積極的に行っていききたい。また地域に貢献出来る仕事を取っていききたい 変更の必要性 — 無 |
| [その他環境経営システムの実施状況] 本年度も火災訓練を実施し問題点が把握出来た | [その他環境経営システムの実施状況] これからも火災訓練に限らず実際に動いてみて問題点を把握する行動を積極的に行っていききたい 変更の必要性 — 無 |
| [総括] 新規技術(ドローンやICT測量器導入)などの導入など、将来を見据えた物や技術の整備など、本年度の環境活動も充実していたと考えられる。来年度の環境活動に生かしていきたい | [総括] 来年度は環境配慮型の重機の導入を検討している。今後もエコアクションの意義、環境責任者と協力し、活動理由を社員に出来るだけ解説していき、個々の結果を上げることよりエコ活動全体の意識を含めた底上げを行っていききたい |